

【見積依頼書】

■ 設計・建設住宅性能評価書（共同住宅）

株式会社 富士設計 行

【本社】 TEL：06-6447-7275 FAX：06-6447-7285
【東京】 TEL：03-5643-5363 FAX：03-5643-5364
【名古屋】 TEL：052-870-9595 FAX：052-870-9596

E-Mail：fuji@fujisekkei.co.jp

*は必須項目です

*物件名	
*所在地 市町村名	() 都道府県 () 市町村
延べ床面積	() m ²
階数・構造	地上()階・地下()階 構造： <input type="checkbox"/> RC造 <input type="checkbox"/> S造 <input type="checkbox"/> 木造 <input type="checkbox"/> その他()
*住戸数	() 戸
*タイプ数	() タイプ ※反転タイプを含む
*省エネ計算書	<input type="checkbox"/> 他社で計算 ⇒ 計算書の指摘対応は御社でお願いします <input type="checkbox"/> 省エネルギー消費計算も依頼したい ⇒ ※省エネ届出書【住宅】からも入力をお願いします
*見積内容 複数選択可	<input type="checkbox"/> 設計住宅性能評価書一式 <input type="checkbox"/> 5-1 断熱等性能等級のみの業務 <input type="checkbox"/> 建設住宅性能評価申請書（申請書作成のみ） <input type="checkbox"/> その他
*取得条件	5-1 温熱等級 等級： <input type="checkbox"/> 4 <input type="checkbox"/> 3 5-2 一次エネルギー消費量等級 <input type="checkbox"/> 取得する 等級： <input type="checkbox"/> 5 <input type="checkbox"/> 4 <input type="checkbox"/> 取得しない 8-1～8-4 音環境 <input type="checkbox"/> 取得する <input type="checkbox"/> 取得しない 9-1 高齢者等配慮対策等級（専用部分） 等級： <input type="checkbox"/> 5 <input type="checkbox"/> 4 <input type="checkbox"/> 3 <input type="checkbox"/> 2 <input type="checkbox"/> 1 9-2 高齢者等配慮対策等級（共用部分） 等級： <input type="checkbox"/> 5 <input type="checkbox"/> 4 <input type="checkbox"/> 3 <input type="checkbox"/> 2 <input type="checkbox"/> 1 その他() *取得項目の一覧表にチェックをお願いします
*審査機関提出先 （予定）	() <input type="checkbox"/> 提出先の予定なし
*業務範囲	<input type="checkbox"/> 成果物の御社への納品（行政の指摘対応は含んでいます） <input type="checkbox"/> 成果物の所管行政庁への提出も含む（地域によっては対応できない場合があります）
*業務期間	資料提供予定：平成 年 月 日～納品希望日：平成 年 月 日
*着工予定日	平成 年 月 日
*評価書発行 希望日	平成 年 月 日
*見積作成 必要図面	設計概要書及び各階平面図、断面図、立面図、取得項目の一覧表をPDFデータでお願いします

※ この用紙に必要な事項を記入して返信してください（メール、FAX）。

* 御社名

*ご担当者様

* E-Mail：

*お電話番号

物件名：

設計性能評価基準の概要（共同住宅用）

	注1	必須	性能表示項目	表示方法				評価区分	備考	
				○等級1は建築基準法をクリアを示す ○最高等級は項目により異なります。						
1. 構造の安定	○	○	1-1 ●耐震等級（倒壊等防止）	□等級3	□等級2	□等級1	住棟	免震建築物は対象外		
	○		1-2 ●耐震等級（損傷防止）	□等級3	□等級2	□等級1	住棟	免震建築物は対象外		
	○	○	1-3 ●その他（地震に対する倒壊等防止及び損傷防止）	□免震建築物		□その他	住棟			
	○		1-4 ●耐風等級（倒壊等防止及び損傷防止）	□等級2	□等級1		住棟			
	○		1-5 ●耐積雪等級（倒壊等防止及び損傷防止）	□等級2	□等級1		住棟			
	○	○	1-6 ●地盤又は杭の許容支持力等及びその設定方法	許容支持力等（数値）と地盤の調査方法等を表示				住棟		
	○	○	1-7 ●基礎の構造方法及び形式	直接基礎の場合は構造方法及び形式を、杭基礎の場合は杭種と杭径・杭長（数値）を表示				住棟		
2. 火災時の安全	○		2-1 ●感知警報装置設置等級（自住戸火災時）	□等級4	□等級3	□等級2	□等級1	住戸		
	○		2-2 ●感知警報装置設置等級（他住戸火災時）	□等級4	□等級3	□等級2	□等級1	住戸	避難階に存する住戸は対象外	
	○		2-3 ●避難安全対策（他住戸火災時・共用廊下）	排煙形式、平面形状の区分を表示				住戸	避難階に存する住戸は対象外	
	○		2-4 ●脱出対策（火災時）	脱出対策の区分を表示				住戸	避難階に存する住戸は対象外	
	○		2-5 ●耐火等級（延焼の恐れのある部分の開口部）	□等級3	□等級2	□等級1		住棟		
	○		2-6 ●耐火等級（延焼の恐れのある部分の開口部以外）	□等級4	□等級3	□等級2	□等級1	住棟		
	○		2-7 ●耐火等級（界壁及び昇床）	□等級4	□等級3	□等級2	□等級1	住戸		
3. 劣化の軽減	○	○	3-1 ●劣化対策等級（構造躯体等）	□等級3	□等級2	□等級1		住棟		
4. 維持管理・更新への配慮	○	○	4-1 ●維持管理対策等級（専用配管）	□等級3	□等級2	□等級1		住戸		
	○	○	4-2 ●維持管理対策等級（共用配管）	□等級3	□等級2	□等級1		住棟		
	○	○	4-3 ●更新対策（共用排水管）	□等級3	□等級2	□等級1		住棟		
	○		4-4 ●更新対策（住戸専用部）	各住戸の躯体天井高を表示				住戸		
5. 温熱環境	○	○	5-1 ●断熱性能等級	—	□等級4	□等級3	□等級2	□等級1	どちらか又は両方で性能表示 5-1は4以上5-2は5以上で 数値を併記する事も可能	
	—	—	5-2 ●一次エネルギー消費量等級	□等級5	□等級4	—	—	□等級1		
6. 空気環境	○		6-1 ●ホルムアルデヒド発散等級	内装	□等級3	□等級2	□等級1		住戸	
		天井裏等		□等級3	□等級2	—		住戸		
	○		6-2 ●全般換気・局所換気対策	居室の換気対策と便所、浴室及び台所の換気設備の区分を表示				住戸		
		6-3 ●室内空気中の化学物質の濃度等	測定した化学物質の名称、濃度等を表示				住戸			
7. 光・視環境	○		7-1 ●単純開口率	数値を表示				住戸		
	○		7-2 ●方位別開口比	東西南北及び真上についてそれぞれ数値を表示				住戸		
8. 音環境			8-1 ●重量床衝撃音対策	—イ	□等級5	□等級4	□等級3	□等級2	□等級1	住戸
				—ロ	□27cm以上	□20cm以上	□15cm以上	□11cm以上	□その他	住戸
			8-2 ●軽量床衝撃音対策	●軽量床衝撃音対策	□等級5	□等級4	□等級3	□等級2	□等級1	住戸
				●軽量床衝撃音対策（軽量床衝撃音レベル低減量）	□30dB	□25dB	□20dB	□15dB	□その他	住戸
			8-3 ●透過損失等級（界壁）	□等級4	□等級3	□等級2	□等級1		住戸	
		8-4 ●透過損失等級（外壁開口部）	□等級3	□等級2	□等級1		住戸			
9. 高齢者等への配慮	○		9-1 ●高齢者等配慮対策等級（専用部分）	□等級5	□等級4	□等級3	□等級2	□等級1	住戸	
	○		9-2 ●高齢者等配慮対策等級（共用部分）	□等級5	□等級4	□等級3	□等級2	□等級1	住戸	
10. 防犯に関すること	○		10-1 ●開口部の侵入防止対策	各戸の階ごとに、開口部の区分に応じ、それぞれ外部からの侵入を防止するための対策が講じられている旨を表示				住戸		

(注1) ○は平成27年4月以前の必須項目を示します

(注2) 等級の数値が大きければ、性能が高いことを示します

(注3) 5-2の項目を評価をする場合は各住戸で一次エネルギー消費量の基準を満足すること。